

# 令和元年度 杉循環器科内科 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について\(厚生労働省\)](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
3. [初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞の患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等\(診療科別患者数上位5位まで\)](#)
7. [その他\(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率\)](#)

年齢階級別退院患者数[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分 0～ 10～ 20～ 30～ 40～ 50～ 60～ 70～ 80～ 90～

患者数 0 2 3 7 16 36 120 239 323 233

令和元年度に当院を退院された患者さん 979 人を 10 歳刻みの年齢階級別に集計しております。

平均年齢が 78.7 歳と高齢であり、9 割近くは 70 歳以上の年齢層となっております。

診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) [ファイルをダウンロード](#)  
循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用 パス
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処 置等 1 なし 手術・処置等 2 なし副傷病なし	130	31.77	17.71	10.00	84.71	
050050xx99100 x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 11 あ り 手術・処置等 2 なし 副傷 病なし	103	3.41	3.01	4.85	69.64	
050050xx02000 x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手 術・処置等なし、1.2 あり 手 術・処置等 2 なし 副傷病な し	73	7.60	4.40	4.11	72.44	

当院は、有明医療圏におきまして 24 時間 365 日、急性心筋梗塞に対する治療である心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術を行っております。

また、地域の高齢化に伴い、心不全疾患の入院患者数が多くなっており在院日数も全国平均を大幅に上まわっています。

腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自 院)	平均 在院 日数 (全 国)	転院 率	平均 年齢	患者 用パ ス
110280xx 99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・ 慢性腎不全 手術なし 手術・処置 等 1 なし 手術・処置等 2 なし 副傷 病なし	8	11.25	11.67	25.0	53.13	
110280xx 99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・ 慢性腎不全 手術なし 手術・処置 等 1 なし 手術・処置等 2 1 あり 定 義副傷病なし	3	20.67	14.23	0	73.33	

当院では、透析病床 45 床を備えており、令和元年度においては、透析患者の入院延べ数 1,692 人・外来延べ数 16,593 人となっております。

県外からの臨時透析も積極的に受け入れております。

初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	0	0	0	0	0	0	1	0
大腸癌	0	0	0	0	0	0	1	0
乳癌	0	0	0	0	0	0	1	
肺癌	0	0	0	0	0	0	1	0
肝癌	0	0	0	0	0	0	1	

※ 1: UICC TNM 分類, 2: 癌取扱い規約

当院では、循環器内科・腎臓内科を中心とした治療を行っており、癌症例につきましては、近医と連携をとり行っております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	4	7.25	62.5
中等症	25	24.04	85.16
重症	1	14.0	81.0
超重症	2	57.5	92.5
不明	0	0	0

当院における肺炎の症例は、中等症が例年多い傾向です。  
年齢が高くなるにつれ重症度も高くなることが分ります。

脳梗塞の患者数等[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	2	44.0	91.5	50.0
その他	2	103.5	85.5	0

脳梗塞の患者数は、保存的な加療となることが多く、在院日数も44日と長くなっております。

急性期の治療が必要と判断された場合は、専門的な治療を行う医療機関に紹介しております。

診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) [ファイルをダウンロード](#)

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	58	4.76	5.38	5.17	73.29	
k5492	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	23	0.22	11.22	4.35	68.22	
k5491	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	22	0.00	23.95	18.18	76.64	
k5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極)	21	7.76	16.29	14.29	80.52	
k5463	経皮的冠動脈形成術(その他)	11	3.27	3.64	0	74.09	

心筋梗塞や狭心症疾患に対してステントという拡張可能な金属の筒を血管に留置し、血管の開通性を保持し再閉塞を予防する経皮的冠動脈ステント留置術を数多く行っています。

腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
k616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	4	26.0	26.25	25.0	77.25	

令和元年度の経皮的シャント拡張術は、89件施行しており、ほぼ日帰りにて施行しております。

その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	1	0.10
180010	敗血症	同一	1	0.10
		異なる	3	0.31
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180040	手術・処置等の合併症	同一	7	0.72
		異なる	0	0.00

合併症に関しては、事前に本人・家族に説明を行い同意を得て実施しております。  
更新履歴